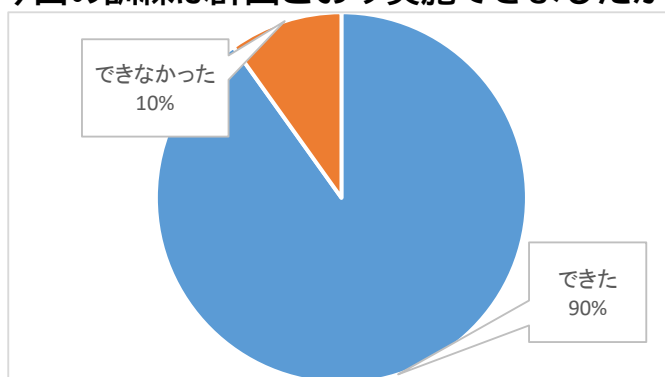


令和7年度秦野市総合防災訓練 アンケート結果（令和7年9月29日時点）

| | |
|----------|-------|
| 自主防災会数 | 238 |
| アンケート回答数 | 172 |
| 回答率 | 72.3% |

1 今回の訓練は計画どおり実施できましたか

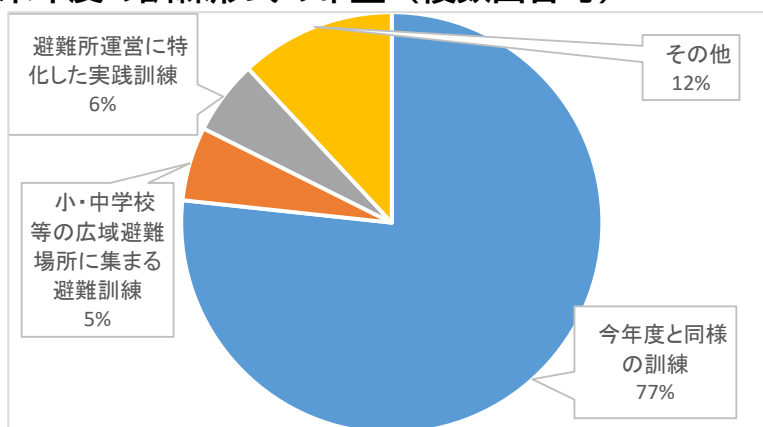


| | |
|--------|-----|
| できた | 155 |
| できなかった | 17 |
| 計 | 172 |

2 計画どおり実施できなかった理由（抜粋）

- ・ 暑過ぎて高齢の方々の参加が少なかったため。
- ・ 熱中症対策のため、一部の訓練をカットした。

3 来年度の訓練形式の希望（複数回答可）

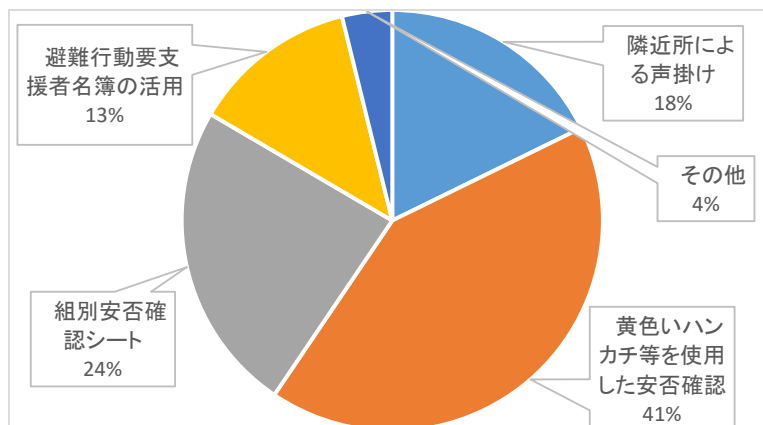


| | |
|-----------------------|-----|
| 今年度と同様の訓練 | 135 |
| 小・中学校等の広域避難場所に集まる避難訓練 | 10 |
| 避難所運営に特化した実践訓練 | 10 |
| その他 | 21 |
| 計 | 176 |

◆その他

- ・ 救命ボックスを活用した訓練。
- ・ AEDを活用した訓練。
- ・ 暑すぎて危険なので、配信形式を検討してほしい。

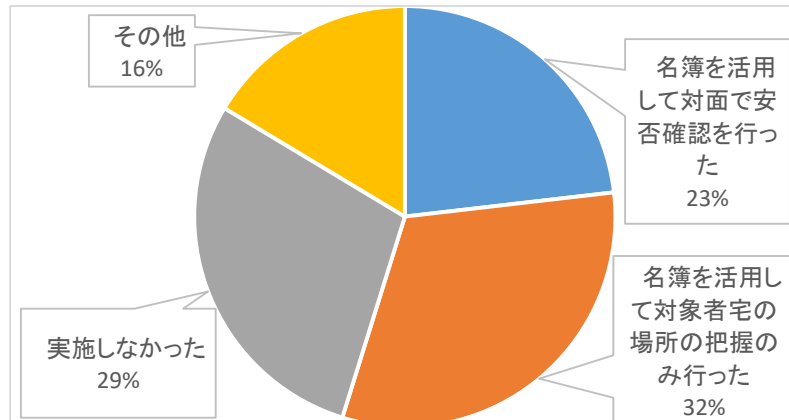
4 安否確認訓練の実施方法（複数回答可）



安否確認報告を受けた
平均時間：9時44分
※開始は9時15分から

| | |
|-------------------|-----|
| 隣近所による声掛け | 60 |
| 黄色いハンカチ等を使用した安否確認 | 141 |
| 組別安否確認シート | 81 |
| 避難行動要支援者名簿の活用 | 43 |
| その他 | 13 |
| 計 | 338 |

5 避難行動要支援者の安否確認方法について

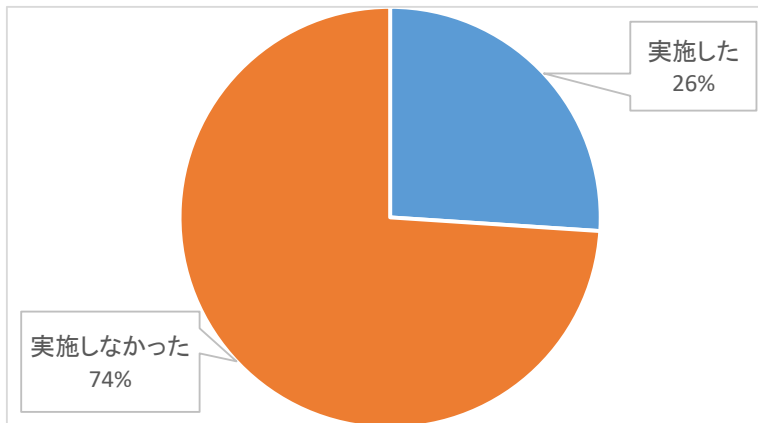


| | |
|------------------------|-----|
| 名簿を活用して対面で安否確認を行った | 41 |
| 名簿を活用して対象者宅の場所の把握のみ行った | 56 |
| 実施しなかった | 51 |
| その他 | 29 |
| 計 | 177 |

◆その他

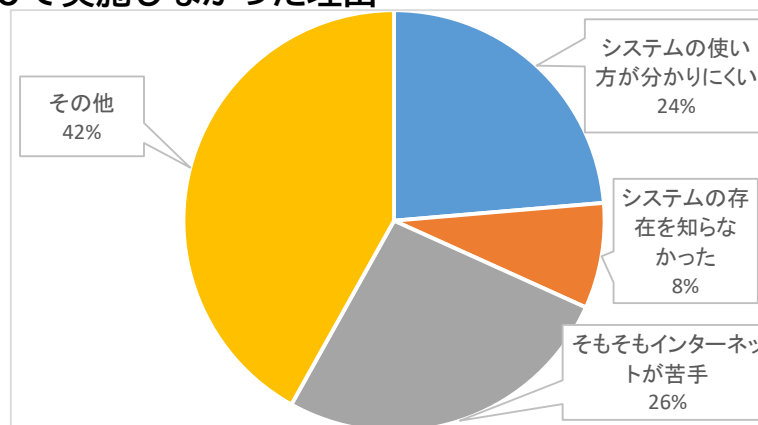
- ・ 猛暑のため、11月に独自で行う訓練での実施を検討している。
- ・ 電話による確認を行った。
- ・ 乾パン配布による対面確認を行った。
- ・ 通常の世帯と同じ方法で実施した。

6 秦野市総合防災情報システムを使った訓練の実施について



| | |
|---------|-----|
| 実施した | 44 |
| 実施しなかった | 125 |
| 計 | 169 |

7 6で実施しなかった理由



| | |
|-----------------|-----|
| システムの使い方が分かりにくい | 35 |
| システムの存在を知らなかった | 12 |
| そもそもインターネットが苦手 | 39 |
| その他 | 62 |
| 計 | 148 |

◆その他

- ・ 猛暑の中、訓練時間の短縮化のため除外した。
- ・ スマホを持っていない方もいるため、全員での訓練ができない。
- ・ 非常時に利用できると思わない。
- ・ 他の訓練と同じ場所でできず、手を広げる余裕がない。

8 防災訓練に関する意見（抜粋）

| | |
|---|---|
| ① | 防災行政無線が聞こえにくい。（複数意見あり→すべて音量調整済み） |
| ② | 猛暑のため、夏に訓練をやるのはきつい。開催時期を変更してほしい。（52件） |
| ③ | 消防団（第一分団第一部）の訓練は丁寧、親切な説明で大変分かりやすく感銘を受けた |
| ④ | 避難行動要支援者の情報が自治会長と民生委員にしか伝わっていない。情報が保管されているだけでは実際に災害が起きた時に行動しづらい。要支援者が行動しやすいようなシステムを市で検討してもらえないか。 |
| ⑤ | 最近の発災からは暴風雨による大雨・洪水を想定した避難訓練も必要と考えている。 |
| ⑥ | 安否確認の黄色いハンカチの案内を回覧はしたが準備できない高齢者が多数いる。黄色い「我が家は無事です」確認フラッグなど秦野市で統一したものを全世帯に配布してほしい。 |
| ⑦ | 自治会加入世帯の訓練となっているが本来は自主防災会の訓練であるべきである。自治会未加入世帯に自主防災加入世帯であるという意識を醸成するために広報活動を進めるべきである。 |
| ⑧ | 当自治会は全体の半数は高齢者世帯でなかなか行動することができなくなっている。役員自体も同じで今までの様な対応ができにくくなっていると思う。 |
| ⑨ | 猛暑のためか参加人数が減った。 |
| ⑩ | 富士山噴火対応訓練を行いたい。 |
| ⑪ | 年に一回の訓練において「気付き」が必ずあるのでこれを大事にしている。 |
| ⑫ | 自治会員が防災に対する関心が薄れており、訓練等について回覧を行っても見ていない人が散見される。 |
| ⑬ | 毎年実施しつつ発生してもおかしくないこの頃であり、日頃より備えの大切さを家族で思いされる訓練である。避難行動の再確認ができ意識の高揚がはかられた。 |
| ⑭ | 秦野市防災課から交付した「Web171 災害用伝言ダイヤル171、総合防災訓練要領」等とても分かりやすくて伝達するのが楽だった。 |
| ⑮ | 合同訓練会場は、よくある体験ブースのみならず、歯科、薬、ベッド、介護など様々な分野の避難時の注意事項の話がありとても参考になった。 |
| ⑯ | 合同訓練会場に外国籍市民向けの避難に関する情報がなかったことが少し気にかかった。ドローンの訓練ではできればモニターで参加者に画像が見れると良かったと思う。 |
| ⑰ | 市で発行している防災訓練スケジュールの記載が分かりにくかった。スケジュールはそのまま回覧したが、自分のやることを迷っていた人が多くいた。一般の人と組長、防災会長で行動パターンが異なり、それが一本のスケジュールになっているためと考えられる。 |
| ⑱ | 自治会に入っていない人には防災訓練の回覧が回らず参加できない。 |
| ⑲ | ケガの応急処置訓練は自治会避難所訓練でも実施可能になったら、と思った。 |
| ⑳ | まだまだ防災訓練の日だという認識が低いようだ。日曜日のため実家にみんなが集まって食事会などを行っている家庭があった。 |